

# 熊野森・里山通信

2019年度号

- ・発行：川崎・多摩丘陵の里山を守る会
- ・会員数：31名（2019年12月現在）

Photo: 2020年1月 末長熊野森緑地より夕焼けの富士山を望む

## 日本タンポポの道を大切に作る心

川崎・多摩丘陵の里山を守る会が設立されて20年が過ぎました。

ふと振り返ると、喜びや苦勞を色々思い起こします。緑地を増やすことを当初考えていたのですが、緑地を維持するだけで今は精一杯です。維持するための里山活動がとても楽しく、気が付いたら20年が過ぎてしまいました。

私たちは、末長久保台公園と末長熊野森緑地管理運営協議会、久本山ターザンの木緑地愛護会を運営し、里山活動を行ってきました。

そして、久保台公園の先、江戸見桜の横からターザンの木へ続く未舗装の川崎市道『久本20号線』の整備も私達の大切な活動領域です。『タンポポの道』と呼び、春に日本タンポポが咲き、ツクシが芽を出すのが楽しみな赤道（アカミチ）です。緑の保全運動として守った大切なターザンの木へ続く道です。



日本タンポポ



江戸見桜



ターザンの木 (スタジイ)

毎年、綺麗に咲く日本タンポポが、私達の心に「緑を守ってね」と訴えているように見え、額に汗を流しながらアズマネザサ、クズ、アレチウリ等を刈っています。そんな活動を通し、自然を大切にすることが、自らの生活を潤すと感じています。

(やよいもも)



# 11月6日(土)、恒例の久保台公園まつりを開催しました

小さな公園でのおまつりではありますが、近隣の方々を始めとして多くの方が訪れてくださいました。

園内では、秋らしい焼き芋、体が温まる豚汁、末長熊野森産のアンズ酒、名物玉こんにゃく等を販売し、あっと言う間に売り切れてしまうものも。フリーマーケットでは買い物を楽しむ人たち、子供たちには末長熊野森緑地で採れた竹を使った「竹ポックリ」や輪投げを用意。真剣になりつつも楽しく遊ぶ子供の姿は微笑ましくもありました。

里山活動を通して地域の自然の大切さを伝えつつ、このおまつりが地域コミュニティの一助になってくれればと思います。  
(ぼんぽこたぬき)



## ターザンの木の保全活動

久本山ターザンの木緑地は近所の子供たちの遊び場になっています。

昨年度の台風でちぎれた枝より幹に近い太い枝の数か所が、さらに今年度の春の嵐で折れてしまいました。そのため、定例活動のメンバーで折れ残った枝を切り落とし、枝の整理を行い、清掃局に引き取ってもらう為に束にまとめる作業をしました。

枝を削った切り口から虫や菌が侵入して樹を腐らせることを防止するため、切り口に防水の処置をしています。  
(椎茸)



# 幼稚園ママさんとの公園清掃

12月5日（木）に、末長久保台公園を幼稚園のバス停として利用しているお母さん方にお声掛けをして、公園の清掃を行いました。気持ちよく晴れて空気が少し冷たい中、園児たちもめいめい道具を持って清掃を手伝ってくれました。

今年も大きなゴミ袋7～8袋分とたくさんあった落ち葉でしたが、短時間で片付いてきれいな公園になりました。

みんな一緒になって公園を清掃したことで、こどもたちにとっても、いつも遊ぶ場所がさらに身近に感じられたり、公園を大切に思ってもらえたりしたらいいな、と感じた初冬の午後でした。

（森のわかば）



## 2019年度の畑だより



今年度は、先ず4月・5月に、昨秋から育てて来たキヌサヤやノラボウ菜などの春野菜を採取しました。6月にはジャガイモが、昨年より多めの収穫となりました。

ところが、その後に始めた夏野菜作りは、例年よりも気温が低く、また日照時間が少ない日が長く続き、さらに遅い梅雨明け、連日の猛暑などの影響を受け、野菜の成長に大きなダメージを受けました。そんな中、唯一嬉しかったのは、トマトが他の野菜に比べて沢山採れたことでした。

9月に種蒔きした大根は、台風15号の大雨で発芽率が低下し、10月の台風19号でも打撃を受けました。今年の収穫量は、豊作の昨年からすると半分位でした。その中でも大きく育った大根を抜き採った時は、喜びも一入でした。

12月現在、畑には後から種を蒔いた大根や、シュンギク、ネギ、そして今年畑でできたノラボウ菜の種を蒔いて順調に育っています。

収穫に一喜一憂した一年でしたが、来期の豊作を願い、また、巡る春を待ち遠しく思っている今日この頃です。  
（すみれ）



## 定例活動



毎月第三日曜日に行っている定例活動は、末長久保台公園の清掃作業から始まります。

遊びに来る子供たちのことを考え、清潔で過ごし易い公園づくりを目指しています。

その後は末長熊野森緑地の保全活動。下草刈りや樹木の枝振りを見ながら剪定を行います。また、久保台公園で集めた枯葉で腐葉土づくりも行っています。

希少な花や木の実の結実など、季節によって毎回違った発見があり、作業後の昼食におしゃべりしながら報告しあうのもまた一興です。

(荻のススキ)



## 「川崎・多摩丘陵の里山を守る会」第20回総会の報告



思い起こせば、私がこの会に入ったのが2014年12月。近所を散策していたままたま迷い込んだのが末長熊野森緑地。そこの掲示板でこの会のことを知り加入しました。それから早くも5年が経ちますが、この緑地に来るといまだになぜかホッとします。住宅が密集した中に奇跡的に残ったわずかな緑地ですが、四季折々の瑞々しい自然が身近に感じられる貴重な場所だからかも知れません。

実は、このような緑地も継続的に手入れがされていないと荒廃してしまいます。2016年春、10年以上も姿を見せなかったキンランが咲きました。これもボランティア活動を通じて地道な手入れを欠かさなかった成果です。このような緑地（里山）を仲間達と手入れをし、次世代のためにも守っていきたいと思います。

そんな思いを胸に抱きつつ、2019年5月19日第20回総会に参加しました。総会では、昨年度の活動および決算報告、2019年度の活動計画案と予算案が決議され、本年度の活動予定が承認されました。総会後には、樹の枝が生い茂り周囲がすっかり暗くなっていたターザンの木の剪定などの手入れを行いました。剪定後は心なしかターザンの木も明るく若返ったような気がしました。

(かじ)



### 2020年6月までの活動計画（詳細はホームページを参照）

◆定例作業（原則第3日曜日）：

2020年2月16日、3月15日、4月19日、5月17日、6月21日

◆活動場所： ・末長久保台公園（午前9時半～10時）

・久本山ターザンの木緑地

・末長熊野森緑地（午前10時～12時頃）

### 2020年度会費（1,000円）の納入について

下記振込み要領で納入をお願いいたします。

① ゆうちょ銀行でのお振込みの場合

振込口座 記号 10260 番号 63488511

名前 カワサキ タマキュウリョウノサトヤマヨマモルカイ

② ゆうちょ銀行以外の金融機関からお振込みの場合

金融機関名 ゆうちょ銀行

振込口座 店名 ○二八（読みゼロハ） 店番 028

預金種別 普通預金 口座番号 6348851

川崎・多摩丘陵の里山を守る会

【問合せ・連絡先】

HP URL <http://www.k-satoyama.org>

E-mail [info@satoyama.org](mailto:info@satoyama.org)



(2020年2月発行)